

当院の沿革

当院は、平成10年7月、旧国立津病院と旧国立療養所静澄病院が統廃合して津市久居明神町に急性期を担う総合病院・国立三重中央病院として開院しました。そして平成16年4月から独立行政法人化され、国立病院機構「三重中央医療センター」となり現在に至ります。

当院周辺は、久居インターに程近く交通至便なうえ、隣接している久居インターガーデンには飲食店も多く、ショッピングセンターも徒歩圏内にございます。

認定・指定

地域医療支援病院

三重県総合周産期母子医療センター

三重県がん診療連携拠点病院

ユニセフ・WHO認定 赤ちゃんにやさしい病院

三重大学連携大学院 医学系研究科 病態解明医学講座

臨床研修指定病院

外国医師臨床研修指定病院

三重県災害拠点病院

アクセスマップ



(車をご利用の場合)

伊勢自動車道・久居インターより

約800m

※駐車料金:

60分まで 無料

60分以降 100円

(電車・バスをご利用の場合)

近畿日本鉄道・久居駅より

「三重中央医療センター行き又は
久居高校行き」

約10分(平日は1時間に2本、
土・日・祝日は1時間に1本)

(タクシーをご利用の場合)

近畿日本鉄道・久居駅より 約7分



独立行政法人国立病院機構

三重中央医療センター

三重県津市久居明神町 2158-5 URL <https://miechuo.hosp.go.jp>

TEL 059-259-1211 FAX 059-259-2651

予約センター(予約変更のみ) 059-259-0770



独立行政法人国立病院機構

三重中央医療センター 救急外来棟 R6.4.10 開棟

ご案内



Mie Chuo Medical Center



三重中央医療センター救急外来棟



救急外来について

当院は平成10年の開院以来、二次救急輪番病院として主に津域内の救急患者さま・救急車の受入れを積極的に行ってまいりましたが、以前の救急外来は狭隘で同時の受入れや経過観察が必要になった場合、また感染症への対応にも苦慮しており、お断りをせざるを得ない状況がありました。そこで今回、独立した救急外来棟を新築させていただき開放的な広々とした救急処置室が実現、棟内にてCT・X線一般撮影も可能となり、多くの救急患者さま・救急車を受入れることが可能となります。

今後の当院救急医療にご期待ください。

救急棟機能

1. 救急処置室 136㎡（処置ベッド3台、ストレッチャー3台）
2. 診察室3室
3. 陰圧室2室
4. CT・X線一般撮影装置完備
5. 救急車入口にシャワー完備



建物詳細



鉄筋コンクリート造り平屋建て

延べ床面積 390.45㎡

建築面積 451.21㎡

耐火耐震建築物

